2021年　タカの渡り調査報告

担当　田川　亨

今年もタカの渡り調査にご協力頂いた皆様、大変お世話になり有難うございました。県下一斉調査は9/18、19、25、26、10/2、3の6日間を設定。任意調査を含め貴重なデータを頂きました。調査責任者の交代（刈安山）、直前の豪雨で通行止めとなり、急遽新定点を設定頂いた福井B等、大変お疲れ様でした。又、初日や探鳥会では雨に降られましたが、精力的な皆様は、その後雨が上がったからと調査して下さいました。いろいろありましたが、事故無く無事終了できたこと嬉しく思います。各定点のまとめについては、代表の方に執筆頂きました。

刈安山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
あわら市	9月18日	0	0	0	0
547m	9月19日	51	12	32	95
	9月25日	126	4	43	173
	9月26日	0	0	0	0
	10月2日	35	0	11	46
	10月3日	53	16	24	93
	合計	265	32	110	407

刈安山（橋崎）：今年は６日間の内２日は雨天で調査ができず、実質４日の調査となった。タカの飛行ルートで最初に上昇する所が展望台から遠くであったこと、ガスがかかる日が多かったことで鳥種の判別が困難だった。又、展望台近辺の雑木が高く育ち、観察しづらくなった。それでも時々展望台上空を、それも低く南下飛翔すると見応えがある。今年はハイタカspが多く、反対にハチクマは少なかった。10月3日の最後の日は、そこそこの数が出て、良い調査会となった。

福井A	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
フォーレスト福井	9月18日	0	0	0	0
高須町170m	9月19日	2	0	1	3
	合計	2	0	1	3

福井B	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
高須町	9月18日	0	0	0	0
290m	9月19日	4	0	0	4
	9月20日	10	2	0	12
	9月21日	1	2	2	5
	9月24日	2	1	1	4
	9月25日	8	1	0	9
	9月26日	1	0	1	2
	9月29日	0	0	0	0
	9月30日	1	1	0	2
	10月1日	0	0	0	0
	10月2日	0	3	0	3
	10月3日	3	2	2	7
	合計	30	12	6	48

福井C	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
中平町	9月12日	2	0	0	2
220m	9月15日	3	0	0	3
	9月19日	6	1	3	10
	9月21日	1	0	0	1
	9月23日	0	0	0	0
	9月25日	26	5	0	31
	9月26日	7	2	1	10
	9月28日	1	2	0	3
	9月29日	0	1	3	4
	9月30日	2	1	1	4
	10月2日	8	2	0	10
	10月3日	3	2	2	7
	合計	59	16	10	85

福井ブロック（Ａ・Ｂ・Ｃ地点）（柳町）：9月の定例行事は「タカの渡り」を見ること。でも・・・。福井ブロックでは、そのコースを探し求めて十数年。福井市西部丘陵地と東部の永平寺～美山町の山稜へ仲間が足を運び、眼を向けてきた。しかし大きな成果が得られなかった。今年からもう一度西部丘陵地で探してみることにした。刈安山を通過したタカ類は「国見岳を中心にした山稜へも飛んで行くはずだ」を信じて、主力メンバーで定点探しを行った。国見岳への二枚田幹線林道は、7月の豪雨で通行止め！止むを得ず手前の高須集落と中平集落周辺で実施した。これが大当たり！10日間ほどの観察で、サシバ88、ハチクマ28、他15＝131個体を確認。福井ブロックとしては上々のでき栄えだ。みんな大喜びだった。今年の結果は、坂井平野から国見岳への稜線の北東～東方向が主流であったが、来年は二枚田幹線林道への通行ができれば、この稜線の海側（北～北東方向）の地点を探して、この2地点で国見岳の北～東側の空域で多くのタカ渡りを探したい。もう今から胸がワクワクで、みんなでタカ渡りを楽しみたい。もっと仲間の眼力がほしい。一緒に楽しもうよ！

部子山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
池田町	9月18日	0	0	0	0
1300m	9月19日	0	0	0	0
八杉400m	9月20日	1	5	0	6
村上	9月23日	6	1	1	8
	9月24日	0	0	0	0
	9月25日	0	0	0	0
	10月1日	0	0	0	0
	10月2日	0	0	0	0
	合計	7	6	1	14

部子山（酒井）：視界が良いと北アルプスまで見えるが、この時期は白い霞が掛かり視程が落ちる。山頂は雲の中に隠れる事が多いので少し下がった1300ｍ地点で調査するが、渡りのタカが見られず、過去に実績があった八杉で調査すると、渡りを確認できた。9/23村上さんが部子山で短時間に8羽の渡りを観察した。今後も部子山の調査は継続したい。

矢良巣岳	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
河野	9月18日	0	0	0	0
470m	9月19日	3	7	0	10
	9月26日	8	3	12	23
	合計	11	10	12	33

矢良巣岳（藤本）：お馴染みの矢良巣岳。眺望は良く敦賀半島が見え、タカの出現数もそこそこで、「渡らないの？」って感じのタカたちと目が合ったり、ハリオアマツバメがビュンビュン羽音を鳴らしながら頭をかすめるように飛び交ったり、例年通り楽しませてもらえた。今年はホノケ山との絡みで調査回数が減ってしまったが、近年はそれなりの成果を得られる地点であるために捨てがたく、ルートをホノケ山と連携できる調査をしたいと思っている。

ホノケ山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
570m	9月7日	0	0	0	0
	9月10日	0	0	0	0
	9月13日	0	12	0	12
	9月15日	2	8	0	10
	9月19日	2	12	2	16
	9月20日	8	44	7	59
	9月21日	0	35	1	36
	9月23日	10	36	4	50
	9月24日	0	0	0	0
	9月25日	22	81	8	111
	9月26日	0	0	0	0
	9月27日	0	2	0	2
	10月2日	0	0	0	0
	10月3日	10	2	0	12
	合計	54	232	22	308

ホノケ山（藤本）：以前より気になっていたホノケ山に定点を取ってみた。ここは、北～西～南南東がぐるっと見渡せ、鉢伏山、天筒山、矢良巣岳の中心地点になっている。ホノケ山のピークで輪を描いて上昇して流れるグループ、ピークからつながる稜線から低く飛び出すグループ、目の前の谷で上昇するグループ、南西や北西の山を上昇するグループ、低く、高く通過するグループと本当に多様で、数も100を超える日があり、期待した以上の成果が得られた。ただこのすべてを1か所でキャッチするのは難しく、3～4か所は定点を取りたいと、来年への課題も多く残した。

鉢伏山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
今庄	9月11日	1	7	0	8
杉津へ	9月12日	0	0	0	0
600m	9月19日	7	38	5	50
	9月20日	35	87	12	134
	9月23日	0	9	0	9
	9月25日	8	2	10	20
	9月27日	14	12	8	34
杉津へ	10月3日	22	4	4	30
	合計	87	159	39	285

鉢伏山（武田）：９月11日から10月3日までの8日間、観察時間の長短はあるが600ｍ地点で定点を取った。特に9/20は南寄りの風で、樫尾谷と孫谷辺りで上昇し稜線上を南下する個体と木の芽峠付近から南西へ行く個体を多く確認した。中には定点前の杉木立に立ち寄るハチクマ（２個体）がおり約30分後に飛び立ち、木の芽峠付近から南西へ飛去した。北寄りの風の日は藤倉山の内側谷から上昇し鉢伏山の「北に派生する稜線」沿いに南下する個体が多く、高空を飛ぶ個体が多かったので見落としがかなりあったと思われる。

杉津（武田）：上記「北に派生する稜線」の海側で通常鉢伏山定点より西側の位置で2日間調査した。今季に開設したホノケ山定点で確認したサシバの群れを確認することができ、定点上空を通過し南下したが、高空を飛んだため雲の中に消失し見落とした個体がかなりあったと思われる。

天筒山	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
敦賀市	9月18日	0	0	0	0
171m	9月19日	64	39	49	152
	9月20日	101	63	37	201
	9月21日	17	104	27	148
	9月22日	19	15	26	60
	9月23日	27	21	67	115
	9月24日	43	10	18	71
	9月25日	417	77	66	560
	9月26日	33	11	48	92
	9月27日	152	7	30	189
	9月28日	6	21	41	68
	9月29日	14	1	63	78
	9月30日	61	5	114	180
	10月1日	0	0	0	0
	10月2日	131	4	37	172
	10月3日	76	0	39	115
	合計	1161	378	662	2201

天筒山（田川）：8/25～10/30継続調査実施。今年の渡りは例年より早く始まり調査総数3350羽となり過去7年間の最多数を記録。その（2/3）に当たる2201羽が僅か2週間の一斉調査時に集中して観察された。鉢伏山以降は野坂山から回り込み西へルートを取るタカもいるが、南へ渡るタカが多く、山沿いを飛去する。9/21は松原より海（北）側を西へ飛去するタカが多く、奥本保でハチクマを同数確認した。10/17以降長野県白樺峠で300～1000羽出ても天筒山では0～5羽しか観察されず10/30にて終了した。終盤は太平洋側を渡る様だ。

奥本保	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
小浜	9月5日	3	1	3	7
386m	9月6日	17	9	4	30
	9月7日	1	0	0	1
※県立大学小浜	9月16日	0	18	0	18
	9月20日	4	4	17	25
	9月21日	2	107	4	113
	9月25日	7	5	0	12
	9月27日	1	0	7	8
	9月28日	0	0	4	4
	9月29日	0	4	14	18
	9月30日	0	7	0	7
	10月3日	24	0	2	26
	合計	59	155	55	269

奥本保（赤間）：秋の渡りの時季が来た9/5日～10/3日の間に調査可能な天候に合わせ実施した。9/16は県立大学小浜でハチクマ18羽が出た。また9/21は久しぶりに北の海上でタカ柱ができ、定点目の前を飛び南西方向(おおい町)へ飛去。9月16日の県立大学でも同じ方向へ飛去した。多く飛んだ日は南寄りの風が吹いていた。

父子A	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
300m	9月18日	0	0	0	0
	9月19日	1	1	3	5
	9月25日	12	4	1	17
	9月26日	16	23	0	39
	10月3日	4	0	0	4
	合計	33	28	4	65

父子（堀）：今年の父子初日は、観察地点に到着した時点で霧の中、それも無風状態で４～５メートル先まで見えるか如何か？程の状態。しばし車の中で状況を観察、暇なので近辺を散策してみた。霧のせいで鳥たちはあまり警戒していないのか、割と間近に見ることができた。サンコウチョウは霧の中から突然目の前に現れ、下側の道路を歩いてゆくと、ヤマドリの一家があらわれ、ゆっくりとこちらに近づいてきた。これほどまじまじとヤマドリを見られたのは初めてであった。別の日には天候が良くてもほとんど飛ばない時間が長く、耳がさえていた。「ジジ…ジジ…ジジ」と虫のような鳴き声が近づいてきた。目の前に現れたのはオオムシクイ。タカに関しては渡りの方向が分かる飛び方の個体は少なく、目前から裏山に消える個体が目立った。

河内の森	月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
熊川宿奥	9月12日	0	4	2	6
510m	9月13日	1	2	0	3
	9月15日	4	21	1	26
	9月21日	5	35	10	50
	9月23日	0	37	4	41
	9月25日	7	20	5	32
	9月27日	6	5	7	18
遠敷峠　840m	10月3日	0	0	0	0
	合計	23	124	29	176

その他の嶺南各地（平城）：昨年の振り返りから、嶺南通過個体のその後のコースを明らかにするため、いくつか観察地点を設けた。
河内の森：南寄りの風の時に、ハチクマが9/21（35）9/23（37）9/24（20）とこの場所では多くが飛んだ。特に9/21は午前中に集中し、強風がやや南西寄りに傾いた午後にはパッタリと止まった。南よりの強風にあおられ北側の千石山方向へ流されながら小浜多田ケ岳方面へ流れる個体も複数見られ、午後には真正面からの風により嶺南西部の通過個体は三十三間山ではなく奥本保方面に流れたと考えられる。
父子Ｂ：父子を通過した個体がどちらへ向かうかは昨年終了時の課題として残っていたので、山越えをした父子の裏側に定点Ｂをとった。観察できた数は少数であるが、父子を通過したと思われる個体は、西へ流れるものと南へ流れるものが見られた。
頭巾山：父子Ｂから南方へ飛行すると頭巾山を通過することになる。それで、頭巾山での観測に挑戦した。観測した2日とも極端な微風で、なかなか飛来する個体は少なかった。山頂は急登の上部にあるため、わき上がって来た個体が、どの方角から飛来したのかがわかりづらい。少しばかり確認できたものは、東方向からやってきて西南西方向へ飛去した。父子Ｂを南下した個体もこの付近を通過すると思われるが、今後の継続した観測を待ちたい。（ただし、観測点までは登山口より徒歩で急登を約2時間登らねばならず、毎日の観測は難しい）

遠敷峠：河内の森を西南西に通過する個体は、百里が岳・遠敷峠を通過すると考えられる。これを確認するために10月3日に遠敷峠に出向いたが、この日は飛来を確認できなかった。京都支部の方が居られ、話を聞くと、今年の9月は毎週土日にこの定点に入り、9月21日には240羽を数えたとのことであった。どの方向に飛ぶのか、話を伺ったところ、大きく分けて3コースがあることがわかった。

①百里が岳の南側を通り、遠敷峠の東側を南西〜西南西方向へ飛ぶ。

②百里が岳の北側を通り、真っ直ぐ遠敷峠方向へ飛来。南西〜西南西へ飛ぶ。

③百里が岳の北側遥かを通り、西へ飛ぶ。

湖北武奈ケ嶽：三十三間山の南南西側、福井県境より僅かに滋賀県側に位置する山。10月30日（土）の正午頃、山頂にて20分の間にノスリ６羽が南西方向に飛去するのを確認した。地図上で確認すると、河内の森の方向である。昨年までに確認した、三十三間山 → 河内の森への飛行コースの途中と思われる。これらをもとに作成した、過去２年間の県下の渡りコースを次ページに示す。

各定点では**調査員を募集**しております。タカの渡り調査は、目が多いほど確認できる可能性高くなります。「あそこに何か飛んでいる」と**見つけるだけで結構です**。皆様のご協力をお願い致します。

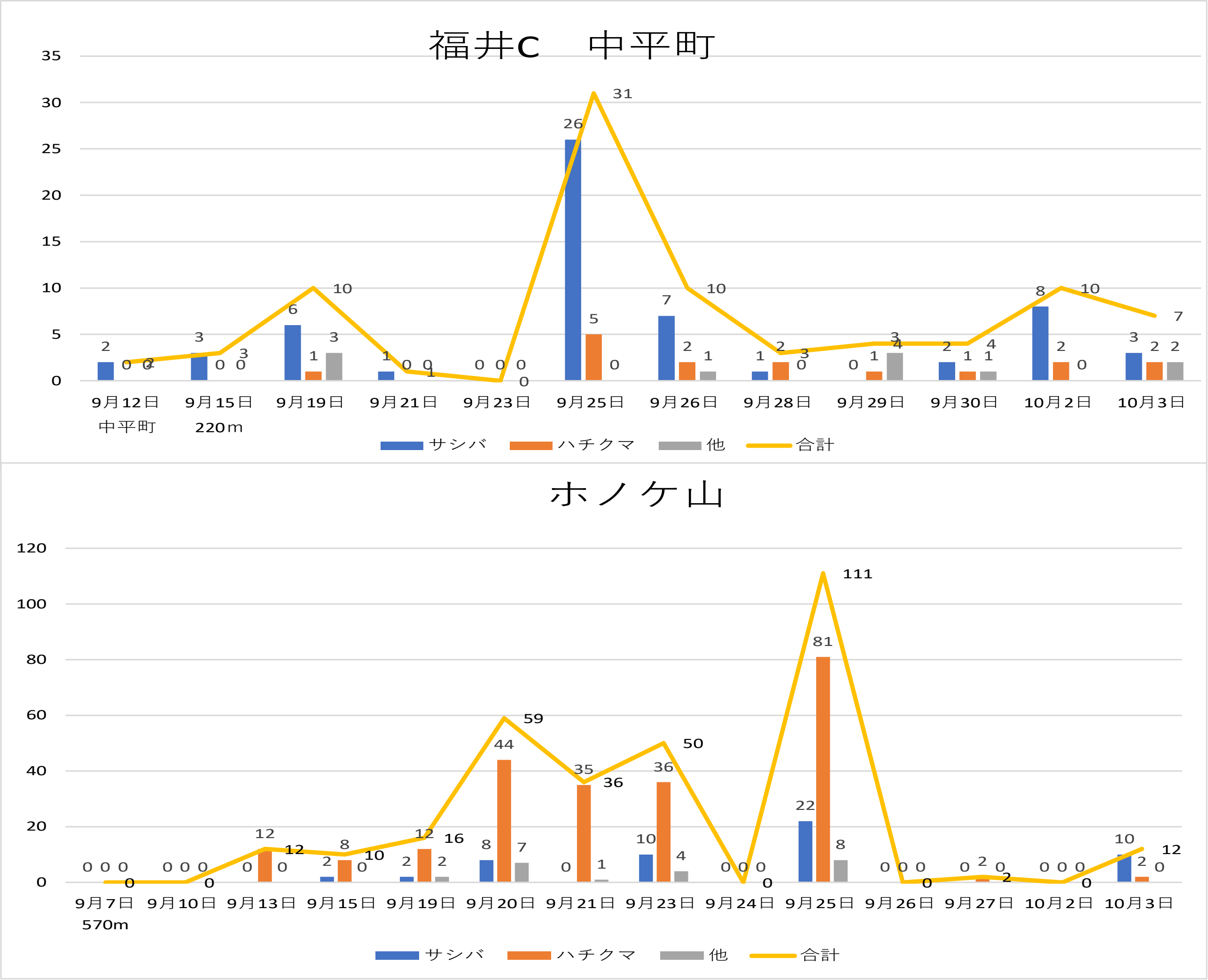
＜余談＞今年も9/19敦賀でコウノトリ７羽が旋回し飛去。1時間半後に奥本保で再確認。県自然環境課木村獣医によると20日には兵庫県たつの市に居るのがGPS航跡で確認されたとの事。冬を温かい場所で過ごす様です。来春の帰福を待ちたいと思います。

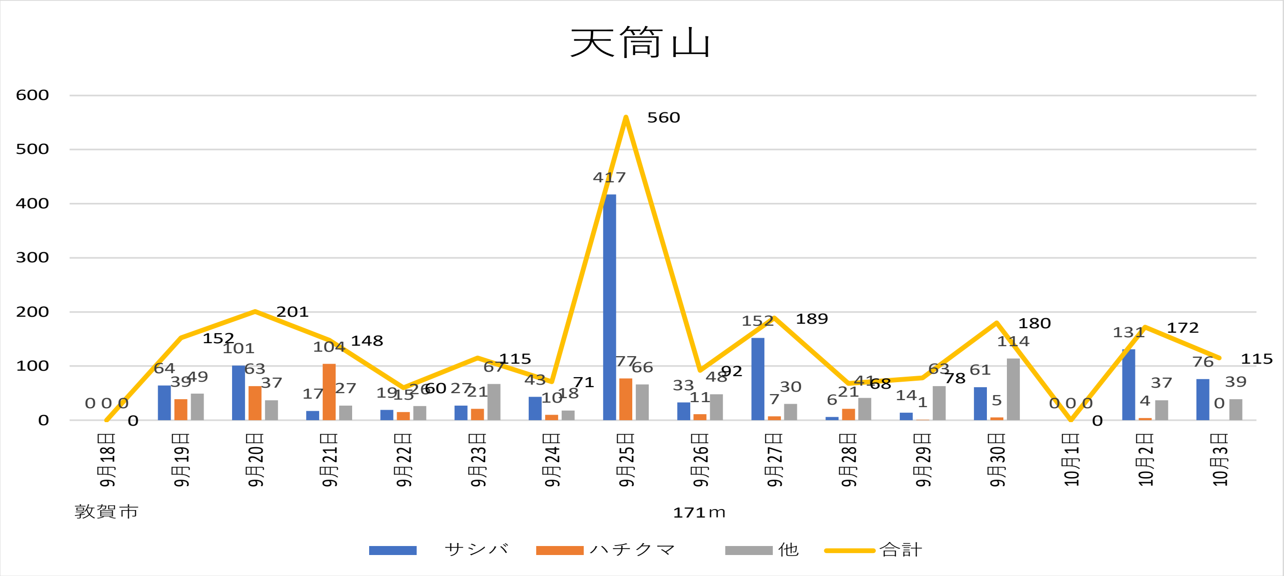
調査にご協力頂いた皆様

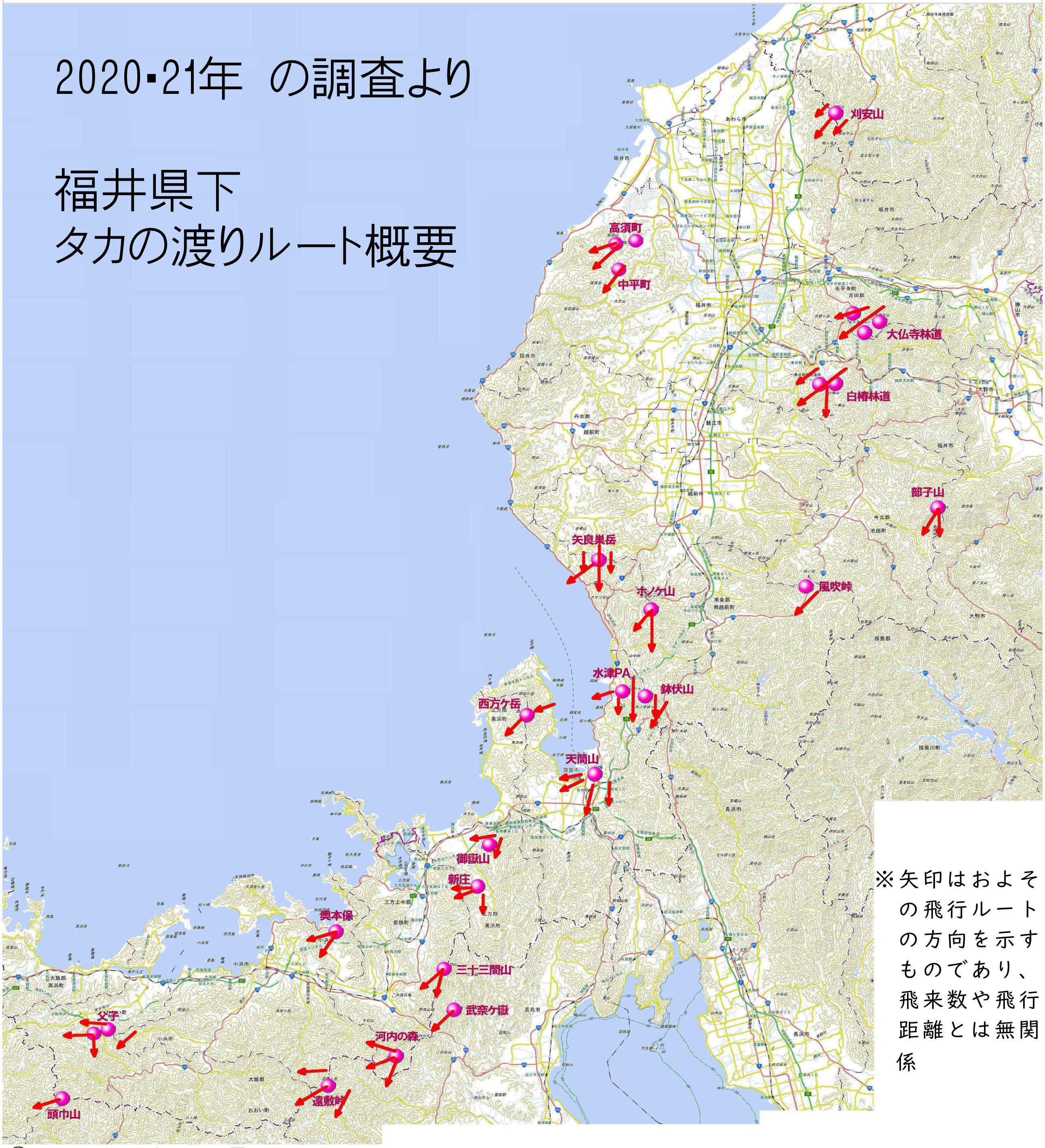
（掲載漏れが有りましたらお許し下さい）

赤星昇、赤間善男、麻畑久人、大塚育恵、大橋正明、大西五十二、大宮正太郎、大畑和代、香川正行、組頭五十夫、越野恵子、小嶋明男、酒井敬冶、鈴川文夫、田川亨、武田真澄美、田原伸吾、辻義次、土田孝幸、橋崎建次、林昌尚、林由美子、藤本尚子、平城常雄、堀孝雄、蒔田憲三、町原秀夫、松田信廣、村上公輝、村上千夏子、柳町邦光、矢部正美、矢部芳子、山崎範子、山根眞一、横山大八、吉田麻里子、西野康弘　（38名）

新たな定点で観測した福井ブロックＣ（中平町）とホノケ山の通過個体数推移







※矢印はおよその飛行ルートの方向を示すものであり、飛来数や飛行距離とは無関係